

# 届出

[平成19年度設置]

計画の区分：学部の学科設置

注1

国際医療福祉大学 福岡リハビリテーション学部  
言語聴覚学科

注2

## 【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 国際医療福祉大学  
平成22年5月1日現在

### 作成担当者

担当部局（課）名 事務部 教務係

職名・氏名 ナガノ ヒロキ  
長野 弘毅

電話番号 0944-89-2000  
(夜間)

F A X 0944-89-2001

e-mail high-nagano@iuhw.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は届出時の基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

届出時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には届出時の旧名称を記載いただき、その下欄に  
( )書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部  
(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 〇〇学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 〇〇学部 〇〇学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 〇〇学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 〇〇学部 〇〇学科（通信教育課程）」

「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人 国際医療福祉大学

## (2) 大学名

国際医療福祉大学

## (3) 大学の位置

〒831-8501

福岡県大川市榎津137-1

[ 〒324-8501  
栃木県大田原市北金丸2600-1 ]

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	届出時	変更状況	備考
理事長	(タカギ クニノリ) 高木 邦格 (平成6年12月21日)		
学長	(タニ シュウイチ) 谷 修一 (平成13年10月1日)	(キタジマ マサキ) 北島 政樹 (平成21年7月1日)	変更の理由：前学長の辞任 変更年月日：平成21年7月1日 (22)
学部長	(オオタ ヨシロウ) 太田 善郎 (平成17年4月1日)	(ミツドメ アキヒサ) 満留 昭久 (平成19年4月1日)	変更の理由：前任者高齢による交代 変更年月日：平成19年4月1日 (21)
学科長等	(フカウラ ジュンイチ) 深浦 順一 (平成19年4月1日)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成19年度に報告済の内容 → (19)

平成22年度に報告する内容 → (22)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて見え消し修正するとともに、上記と同様に「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください。  
 ・ 様式は、平成19年度開設の4年制の学科の場合(平成22年度までの4年間)ですが、開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称、定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
福岡リハビリテーション学部 言語聴覚学科 学士(言語聴覚学)	4年	40人	0人	160人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度				平均入学定員超過率	備考
	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度		
A 入学定員	(-)人 40	(-)人 40	(-)人 40	(-)人 40	1.05倍	
志願者数	(-)人 131	(-)人 101	(-)人 104	(-)人 88		
受験者数	(-)人 129	(-)人 101	(-)人 103	(-)人 87		
合格者数	(-)人 109	(-)人 69	(-)人 94	(-)人 82		
B 入学者数	(-)人 41	(-)人 41	(-)人 41	(-)人 45		
入学定員超過率 B/A	(-)人 1.02	(-)人 1.02	(-)人 1.02	(-)人 1.12		

- (注) ・ ( )内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、( )書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入し、平均入学定員超過率も同様の方法としてください。  
 ・ 「平成22年度」には、平成22年5月1日現在の状況を記入してください。  
 ・ 「平成19~21年度」には、確定した数値を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	対象年度				備考
	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	
1年次	[ - ] 41	[ - ] 40	[ - ] 41	[ - ] 45	
2年次	/	[ - ] 40	[ - ] 44	[ - ] 45	
3年次	/	/	[ - ] 36	[ - ] 43	
4年次	/	/	/	[ - ] 28	
計	[ - ] 41	[ - ] 80	[ - ] 121	[ - ] 161	

- (注) ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 各年度の5月1日現在の状況を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成19年度	計 [ 0 ] 0	計 [ 0 ] 41	[ 0% ] 0%
	うち平成19年度入学者 0人	うち平成19年度 41人	
	(主な退学理由)		
平成20年度	計 [ 0 ] 2	計 [ 0 ] 82	[ 0% ] 2.4%
	うち平成19年度入学者 1人	うち平成19年度 41人	
	うち平成20年度入学者 1人	うち平成20年度 41人	
	(主な退学理由) ・学生個人の心身に関する事情 (1) ・除籍 (1)		
平成21年度	計 [ 0 ] 5	計 [ 0 ] 123	[ 0% ] 4.1%
	うち平成19年度入学者 1人	平成19年度 41人	
	うち平成20年度入学者 1人	平成20年度 41人	
	うち平成21年度入学者 3人	平成21年度 41人	
	(主な退学理由) ・学生個人の心身に関する事情 (1) ・他の教育機関への入学・転学 (1) ・家庭の事情 (1) ・除籍 (1) ・その他 (1)		
平成22年度	計 [ 0 ] 0	計 [ 0 ] 168	[ 0% ] 0%
	うち平成19年度入学者 0人	平成19年度 41人	
	うち平成20年度入学者 0人	平成20年度 41人	
	うち平成21年度入学者 0人	平成21年度 41人	
	うち平成22年度入学者 0人	平成22年度 45人	
(主な退学理由)			

(注)・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。

- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、各対象年度における退学者数を開設年度から当該年度までの入学者（累積）で除した割合（%）を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
  - ・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
  - ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他
- ・「平成22年度」については5月1日現在の状況を記入してください。
- ・「平成19～21年度」には、確定した数値を記入してください。

## 2 授業科目の概要

<福岡リハビリテーション学部 言語聴覚学科>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
人文科学系	文学	1 前		2									
	心理学	1 前		2		1							
	哲学	1 前		2									
	コミュニケーション概論	1 前										通常開講 (22)	
		未開講										履修希望者なしのため未開講 (21)	
	人間学	1 前										通常開講 (21)	
		未開講										20年度担当教員不在のため未開講 (21)	
	倫理学	1 前		2								担当教員不在のため未開講 (22)	
	文化人類学	1 前										通常開講 (22)	
		未開講										担当教員不在のため未開講 (21)	
	教育学	1 後		2									
	死生学概論	1 後		2									
	社会科学系	法学	未開講										担当教員不在のため未開講 (22)
			1 後		2								
社会学		1 後		2									
国際関係論		1 前		2									
国際医療福祉論		1 前		2									
ボランティア論		1 前		2									
医療関連法規		未開講										担当教員不在のため未開講 (22)	
		1 後		2									
経済学		1 後		2									
社会保障政策論		未開講										担当教員不在のため未開講 (22)	
	1 前		2								国際性を目指した教育理念の充実を図るため新たに科目を追加 担当 佐藤禎一 (兼任講師) (22)		
自然・情報科学系	保健医療統計学	1 後	2										
	情報処理	1 前	2										
	情報処理演習	1 前		1									
	物理学	1 前		2									
	化学	1 後		2									
	生物学	1 前		2									
	生命倫理	1 前	2										
	医学/医療史	1 後		2									
	人間工学	1 後		2									
	外国語系	英語 I-1	1 前	1									
英語 I-2		1 後	1										
英語 I-3		2 年		2									
英語 II (医学英語)		2 年		2									
中国語		2 年		2									
韓国語		2 年		2									
健康科学理論	1 前	2											
健康科学実践	1 前	1											

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基礎科目・学部共通	リハビリテーション概論	1 前	1			1	1					橋本紀子の就任辞退により、科目分担を再検討した。 旧担当：深浦順一（教授） 新担当：為数哲司（准教授）（21）
	関連職種連携論	1 後		1								担当教員不在のため未開講（22）
	保健医療福祉制度論	1 後	2									
	救急医学	未開講		1								
	ケアマネジメント論	2 前		1								
	公衆衛生学	1 後		1								
	ケースワーク論	1 後		1								
	薬理学	2 後		1								
	栄養学	2 前		1								
	カウンセリング論	2 前		1								
	外科学	2 前		1								
	スポーツ医科学	2 前		1								
	臨床心理学概論	2 前		1								学習進度を考慮して2年次開講とした（21）
専門基礎科目	解剖学	1 前	2									学習進度を考慮して2年次開講とした（21）
	生理学	1 前	2									
	病理学	1 後	1									
	医学概論	1 後	1									
	内科学	3 前	2									
	精神医学	3 前	2									
	リハビリテーション医学	2 後	1									
	小児科学	3 前	1									
	耳鼻咽喉科学	3 前	1			1						
	臨床神経学	2 後	1									
	形成外科学	3 前	1			1						
	臨床歯科医学	2 前	1			1						
	口腔外科学	3 前	1			1						
	音声言語医学	2 後	1			1						
	中枢神経機能学	2 前	1									
	聴覚医学	2 前	1			1						
	児童精神医学	1 後		1								
	老年学	2 前		1								学習進度を考慮して2年次開講とした（21）
	脳神経外科学	2 後		1								学習進度を考慮して2年次開講とした（21）
	画像診断学	2 前		1								学習進度を考慮して2年次開講とした（21）
	臨床心理学Ⅰ（基礎）	2 前	1			1						橋本紀子の就任辞退により、科目分担を再検討した。 旧担当：南出好史（教授） 新担当：吉住直行（兼任講師）（21）
	臨床心理学Ⅱ（応用）	2 後	1			1						
	生涯発達心理学Ⅰ（基礎）	1 前	1				1					橋本紀子の就任辞退により、科目分担を再検討した。 旧担当：橋本紀子（准教授） 新担当：吉住直行（兼任講師）（21）
生涯発達心理学Ⅱ（応用）	1 後	1				1						
学習心理学	2 後	1				1	1				橋本紀子の就任辞退により、科目分担を再検討した。 旧担当：橋本紀子（准教授） 新担当：南出好史（教授）（21）	
神経心理学	1 後	1									橋本紀子の就任辞退により、科目分担を再検討した。 旧担当：吉住直行（兼任講師） 新担当：南出好史（教授）（21）	
認知心理学	2 後	1				1						
心理測定法	2 後	1									橋本紀子の就任辞退により、科目分担を再検討した。 旧担当：吉住直行（兼任講師） 新担当：南出好史（教授）（21）	
心理測定法演習	2 後		1									
実験計画法	3 前	1				1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	言語学	1 後	1				1					より専門性の高い外部教員に依頼した。 旧担当：安立多恵子（准教授） 新担当：高井岩男（兼任講師） (21)
	言語心理学	2 前	1			1						橋本紀子の就任辞退により、 科目分担を再検討した。 旧担当：南出好史（教授） 新担当：徳田和恵（准教授） (21)
	言語発達学	2 後	1			1	1					
	音声学Ⅰ（基礎）	1 後	1									橋本紀子の就任辞退により、 科目分担を再検討した。 旧担当：南出好史（教授） 新担当：徳田和恵（准教授） (21)
	音声学Ⅱ（応用）	2 前	1									
	音声情報処理学	2 前	1									
	聴覚心理学	3 前	1			1						
	言語聴覚障害学概論Ⅰ（基礎）	1 前	2			1						} 分担見直しによる教員の追加： 岩崎裕子（講師）(22)  } 分担見直しによる専任教員の追加： 田宮愛（助教）(21) 田宮愛の辞任による教員の変更：岩崎裕子（講師）(22)  } 田宮愛の辞任による教員の変更： 岩崎裕子（講師）(22)
	言語聴覚障害学概論Ⅱ（応用）	1 後	2			1	1					
	言語聴覚障害学診断学	2 前	1			1	1					
	成人言語障害学総論Ⅰ（基礎）	2 前	1			1	1	1				
	成人言語障害学総論Ⅱ（応用）	2 後	1			1	1	1				
	高次脳機能障害学	3 前	1			1	1	1				
	失語症学	3 前	1				1	1	1			
	失語症学特論	3 後	1				1	1	1			
	失語症学特論演習	3 前	1				1	1	1			
	言語発達障害学総論Ⅰ（基礎）	2 前	1				1					
	言語発達障害学総論Ⅱ（応用）	2 後	1				1					
	言語発達障害学	3 前	1				1					
	言語発達障害学演習	3 前	1				1					
	言語発達障害学特論	3 前	1				1					橋本紀子の就任辞退により、 科目分担を再検討した。 旧担当：橋本紀子（准教授） 新担当：徳田和恵（准教授） (21)
	言語発達障害学特論演習	3 後	1				2					橋本紀子の就任辞退により、 科目分担を再検討した。 旧担当：橋本紀子（准教授） 新担当：徳田和恵（准教授） 新担当：安立多恵子（准教授） (21)
	聴覚障害学総論	2 前	1			1						橋本紀子の就任辞退により、 科目分担を再検討した。 旧担当：徳田和恵（准教授） 新担当：深浦順一（教授） (21)
	聴覚機能評価学	2 後	2			1						
	補聴器・人工内耳	3 後	1			1						
	小児聴覚障害学Ⅰ（基礎）	3 前	1			1	1					
	小児聴覚障害学Ⅱ（応用）	3 後	1			2	1					橋本紀子の就任辞退により、 科目分担を再検討した。 旧担当：徳田和恵（准教授） 新担当：深浦順一（教授） 新担当：南出好史（教授） (21)
	成人聴覚障害学	3 前	1			1						橋本紀子の就任辞退により、 科目分担を再検討した。 旧担当：ため数哲司（准教授） 新担当：安立多恵子（准教授） (21)
	視覚聴覚重複障害	3 前	1				1					
	発声発語障害学総論	2 前	1				1					
	機能性構音障害学	2 後	1				1					
	吃音学	2 後	1				1					
	器質性構音障害学	3 前	1				1					
構音障害学演習	3 前	1				1						
音声障害学	3 前	1			1	1					橋本紀子の就任辞退により、 科目分担を再検討した。 旧担当：ため数哲司（准教授） 新担当：深浦順一（教授） (21)	
摂食・嚥下障害学Ⅰ（基礎）	3 前	1				1					橋本紀子の就任辞退により、 科目分担を再検討した。 旧担当：深浦順一（教授） 新担当：徳田和恵（准教授） (21)	
摂食・嚥下障害学Ⅱ（応用）	3 後	1				1						
運動性構音障害学	3 後	1				1						
言語聴覚障害学研究法概論	3 前		2		1	1						
言語聴覚障害学研究法実践	3 後		2		1	1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	言語聴覚障害総合演習	2 後	1			1	1					分担見直しによる教員の追加：安立多恵子（准教授）(22)  橋本紀子の就任辞退により、担当教員を減員した。(21)
	言語聴覚療法特論Ⅰ（基礎）	4 後	1			1	<del>4</del> 3					
	言語聴覚療法特論Ⅱ（応用）	4 後	1			1	<del>4</del> 3					
	卒業研究	3後~ 4前		3		1	<del>4</del> 3					
	臨床実習Ⅰ（基礎）	3 後	2			1	<del>4</del> 3		1			
	臨床実習Ⅱ（応用）	4 前	10			1	<del>4</del> 3			1		
○○科目	○○○○○○○○ [平成22年度から配当年次を変更する場合の記入例] ○○○○○○○○	1 前  2 前 <del>1 後</del>	4  2			2  1			1  1			○○の理由により、配当年次を変更(22)
	[平成19年度から配当年次を変更している場合の記入例] ○○○○○○○○  [平成22年度から科目を追加する場合の記入例] ○○○○○○○○  [平成22年度から専任教員を追加する場合の記入例] ○○○○○○○○	2 前 <del>1 後</del>  1 後  2 後	2  2			1  2  2				1  1  1		○○の理由により、平成19年度より配当年次を変更(22)  ××の理由により、科目を追加(22) 担当 ○○○○（准教授）  △△の理由により、教員を追加(22) 担当 ○○○○（准教授）

- (注) ・届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。  
・届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載いただき、届出時より変更されているものは赤字で見え消し修正いただき、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。  
・「配当年次」について、届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度届出以前)についても、届出時の状況を黒字で記載いただき、平成22年5月1日現在の状況を赤字で見え消し修正してください。

(2) 授業科目数

届出時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 78	科目 45	科目 0	科目 123	科目 78	科目 46	科目 0	科目 124	
				[ 0 ]	[ 1 ]	[ 0 ]	[ 1 ]	

- (注) ・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[ ]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)



(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	倫理学	2	1	一般	選択	兼任教員の退職による未開講、後任の兼任教員を手配中。
2	法学	2	1	一般	選択	兼任教員の退職による未開講、後任の兼任教員を手配中。
3	医療関連法規	2	1	一般	選択	兼任教員の退職による未開講、後任の兼任教員を手配中。
4	社会保障政策論	2	1	一般	選択	兼任教員の退職による未開講、後任の兼任教員を手配中。
5	救急医学	1	2	専門	選択	兼任教員の辞退による未開講、後任の兼任教員を手配中。

- (注) ・届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・届出時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

大学の所見：

社会科学系総合教育科目の卒業に必要な単位数は6単位（3科目）であり、社会科学系9科目中3科目が開講できていない状況は、大学としても問題であると認識している。

現在これらの科目を教授できる非常勤講師を探しているところであり、後期には必ず開講するよう手配中である。

また、今年度より、新科目「世界遺産と国際文化政策」を社会科学系に追加し、学生の選択肢は広がっている。

「救急医学」は選択科目ではあるが、医療系学部にとって欠かせない科目と考えており、極力開講できるように後任の教員を探している。

学生への周知方法：

新入生へはオリエンテーション時に説明を行い、また、全学生に対し掲示板にて告知した。

- (注) ・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「届出時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{届出時の計画の授業科目数の計}} = 4.03\%$$

- (注) ・小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校舎敷地	20,423.18㎡	㎡	㎡	20,423.18㎡			
	運動場用地	5,606.00㎡	0㎡	0㎡	5,606.00㎡			
	小 計	26,029.18㎡	㎡	㎡	26,029.18㎡			
	そ の 他	11,864.00㎡	㎡	㎡	11,864.00㎡			
	合 計	37,893.18㎡	0㎡	0㎡	37,893.18㎡			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
		17,247.81㎡ ( 17,247.81㎡)	0㎡ ( 0㎡)	0㎡ ( 0㎡)	17,247.81㎡ ( 17,247.81㎡)			
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
	16室	2室	33室	3室 (補助職員 0人)	1室 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	福岡リハビリテーション学部 言語聴覚学科			10 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標 本	
		〔うち外国書〕 冊	〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕				点
	福岡リハビリ テーション学部 言語聴覚学科	1,500 [300] ( 12,554 [744] )	30 [ 20 ] ( 116 [ 51] )	2,400 [2,300] (1,906 [1,130] )	50 ( 359 )	1,500 ( 367 )	14 ( 16 )	
	計	1,500 [300] ( 12,554 [744] )	30 [ 20 ] ( 116 [ 51] )	2,400 [2,300] (1,906 [1,130] )	50 ( 359 )	1,500 ( 367 )	14 ( 16 )	
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			
	1,546.33㎡		170		47,400			
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
	1,852.05㎡		武道場 611.94㎡					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員 1 人当り研究費等	500千円	600千円	図書購入費	15,000千円	2,000千円	2,000千円
	共 同 研 究 費 等	13,000千円	15,000千円	設備購入費	70,000千円	3,000千円	3,000千円	
	学生 1 人当り 納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次	
		1,700千円 1,800千円	1,400千円 1,300千円	1,400千円 1,300千円	1,400千円 1,300千円	千円	千円	(21)
	学生納付金以外の維持方法の概要		手数料収入等					

(注) ・届出時の計画を設置届出書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。

- ・「(3) 教室等」「(5) 図書・設備」等について、届出時に数値を記載する必要がなかった学部等(平成20年度届出以前)については、届出時の数値の記載は不要ですが、平成22年5月1日現在の数値を赤字で記入してください。届出時に数値を記載した学部等(平成21年度届出以降)については、届出時の数値を黒字で記載いただき、平成22年5月1日現在の状況を赤字で見え直し修正してください。
- ・運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・「(5) 図書・設備」については、上段に完成年度の予定の数値を、下段には平成22年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え直し修正するとともに、その理由及び報告年度「(22)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。

#### 4 既設大学等の状況

大学の名称	国際医療福祉大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
保健医療学部	4	480		1,920		1.25	平成7年度	栃木県大田原市北金丸2600番1	
看護学科	4	100		400	学士(看護学)	1.29	平成7年度		
理学療法学科	4	80		320	学士(理学療法学科)	1.27	平成7年度		
作業療法学科	4	80		320	学士(作業療法学科)	1.23	平成7年度		
言語聴覚学科	4	80		320	学士(言語聴覚学)	1.17	平成7年度		
視機能療法学科	4	40		160	学士(視機能療法学)	1.25	平成14年度		
放射線・情報科学科	4	100		400	学士(放射線・情報科学)	1.27	平成7年度		
医療福祉学部	4	160	5	650		1.09	平成9年度		
医療福祉・マネジメント学科	4	160	5	650	学士(医療福祉学)	1.09	平成21年度		
					学士(医療マネジメント学)				
医療経営管理学科	4	100		400	学士(医療経営管理学)	—	平成9年度		平成21年度から学生募集停止
医療福祉学科	4	140	5	570	学士(医療福祉学)	—	平成9年度		平成21年度から学生募集停止
薬学部(6年制)	6	180		1080		0.97	平成18年度		
薬学科(6年制)	6	180		1080	学士(薬学)	0.97	平成18年度		
福岡リハビリテーション学部		160		640				福岡県大川市榎津字中曾利187番1	
理学療法学科	4	80		320	学士(理学療法学科)	1.14	平成17年度		
作業療法学科	4	40		160	学士(作業療法学科)	1.18	平成17年度		
言語聴覚学科	4	40		160	学士(言語聴覚学)	1.14	平成19年度		

既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	備考
小田原保健医療学部	4	130		520		1.23			
看護学科	4	50		200	学士(看護学)	1.11	平成18年度	神奈川県小田原市城山一丁目2番25号	
理学療法学科	4	40		160	学士(理学療法学科)	1.32	平成18年度		
作業療法学科	4	40		160	学士(作業療法学科)	1.28	平成18年度		
福岡看護学部	4	80		320					福岡県福岡市長浜1丁目3番1号
看護学科	4	80		320	学士(看護学)	1.27	平成21年度		
医療福祉学研究科									
保健医療学専攻 (修士課程)	2	100		200	修士(保健医療学)	1.31	平成11年度	栃木県大田原市北金丸2600番1	
					修士(看護学)				
					修士(助産学)				
					修士(医療福祉)	1.08	平成13年度		
医療福祉経営専攻 (修士課程)	2	50		100	修士(診療情報管理学)				
					修士(医療ビジネス経営学)				
					修士(医療福祉管理学)				
臨床心理学専攻 (修士課程)	2	25		50	修士(臨床心理学)	1.00	平成19年度	東京都港区南青山一丁目3番3号	
保健医療学専攻 (博士課程)	3	50		150	博士(保健医療学)	1.61	平成13年度	栃木県大田原市北金丸2600番1	
					博士(看護学)				
					博士(助産学)				
					博士(医療福祉経営学)				
					博士(医療福祉学)				

既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	定 員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	備 考
薬科学研究科 医療・生命薬科学専 攻（修士課程）	2	15		30	修士（薬科学）	—	平成21年度	栃木県大田原 市北金丸2600 番1	平成22年 度から学 生募集停 止
薬科学研究科 生命薬科学専攻 （修士課程）	2	15		30	修士（薬科学）	0.60	平成22年度		

（注）・本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が、既に設置している全ての大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校学科について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、平成22年5月1日現在の状況を記入してください。

（専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。）

- ・認可申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。
- ・「定員超過率」には、過去標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで（小数点第3位を切り捨て）を、学科（短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程）単位で記入してください。なお、学生募集停止を行った学科（短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程）の記載は不要です。
- ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「—」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<福岡リハビリテーション学部 言語聴覚学科>

(1) 担当教員表

届出時の計画					変更状況					備考							
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名								
専	教授	深浦順一	平成19年4月	リハビリテーション概論	専	教授	深浦順一	平成19年4月	言語聴覚障害学概論Ⅰ	言語聴覚障害学概論Ⅰ 言語聴覚障害学診断学 聴覚障害学総論 聴覚機能評価学 補聴器・人工内耳 成人聴覚障害学 言語聴覚障害学総合演習 言語聴覚療法特論Ⅰ 言語聴覚療法特論Ⅱ 卒業研究 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ	言語聴覚障害学概論Ⅰ 言語聴覚障害学診断学 聴覚障害学総論 聴覚機能評価学 補聴器・人工内耳 成人聴覚障害学 言語聴覚障害学総合演習 言語聴覚療法特論Ⅰ 言語聴覚療法特論Ⅱ 卒業研究 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ	深浦学科長の負担軽減のため左記科目担当を変更した(19)					
				言語聴覚障害学研究法概論					専				准教授	為数哲司	平成19年4月	リハビリテーション概論	
				言語聴覚障害学研究法実話					専				准教授	徳田和恵	平成20年4月	言語聴覚障害学研究法概論 言語聴覚障害学研究法実話	分担見直しにより左記科目担当を変更した(21)
				言語聴覚障害学総合演習					専				准教授	安立多恵子	平成19年4月	言語聴覚障害学総合演習	深浦と分担して担当する教員を追加した(22)
専	教授	南出好史	平成19年4月	心理学	専	教授	南出好史	平成19年4月	心理学	臨床心理学Ⅰ 臨床心理学Ⅱ 言語心理学 言語発達学 聴覚心理学	心理学	言語心理学 聴覚心理学	分担見直しにより左記科目担当を変更した(20)				
				臨床心理学Ⅰ					専		准教授			徳田和恵	平成20年4月	言語発達学	
				臨床心理学Ⅱ					兼任		講師			吉住直行	平成19年4月	臨床心理学Ⅰ 臨床心理学Ⅱ	分担見直しにより左記科目担当を変更した(20)
専	准教授	徳田和恵	平成20年4月	言語発達障害学	専	准教授	徳田和恵	平成20年4月	言語発達障害学	言語発達障害学演習 小児聴覚障害学Ⅰ 小児聴覚障害学Ⅱ 視覚聴覚重複障害 言語聴覚療法特論Ⅰ 言語聴覚療法特論Ⅱ 卒業研究 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ	言語発達障害学	言語発達障害学演習 視覚聴覚重複障害 言語聴覚療法特論Ⅰ 言語聴覚療法特論Ⅱ 卒業研究 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ	分担見直しにより左記科目担当を変更した(21)				
				言語発達障害学演習					専		教授			深浦順一	平成19年4月	小児聴覚障害学Ⅰ 小児聴覚障害学Ⅱ	
				小児聴覚障害学Ⅰ					専		教授			南出好史	平成19年4月	小児聴覚障害学Ⅱ	分担見直しにより左記科目を深浦と分担して担当した(21)
専	准教授	安立多恵子	平成19年4月	言語学	専	准教授	安立多恵子	平成19年4月	言語聴覚障害学概論Ⅱ	言語聴覚障害学概論Ⅱ 言語聴覚障害学診断学 言語発達障害学総論Ⅰ 言語発達障害学総論Ⅱ 機能性構音障害学 吃音学 器質性構音障害学 言語聴覚療法特論Ⅰ 言語聴覚療法特論Ⅱ 卒業研究 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ	言語聴覚障害学概論Ⅱ	言語聴覚障害学診断学 言語発達障害学総論Ⅰ 言語発達障害学総論Ⅱ 機能性構音障害学 吃音学 器質性構音障害学 言語聴覚療法特論Ⅰ 言語聴覚療法特論Ⅱ 卒業研究 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ	より専門性の高い兼任講師に変更した(19)				
				言語聴覚障害学診断学					兼任		講師			高井岩生	平成19年4月	言語学	

届出時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	准教授	橋本紀子	平成19年4月	言語発達障害学特論 言語発達障害学特論演習	専	准教授	徳田和恵	平成20年4月	言語発達障害学特論 言語発達障害学特論演習	左記科目を分担して担当した(21) 左記科目を分担して担当した(21) 左記科目を担当した(19) 左記科目を担当した(20) 橋本准教授就任辞退により他の教員で分担して担当した(21)
				生涯発達心理学Ⅰ 生涯発達心理学Ⅱ	専	准教授	安立多恵子	平成19年4月	言語発達障害学特論演習	
				学習心理学	兼任	講師	吉住直行	平成19年4月	生涯発達心理学Ⅰ 生涯発達心理学Ⅱ	
				言語聴覚療法特論Ⅰ 言語聴覚療法特論Ⅱ 卒業研究 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ	専	教授	南出好史	平成19年4月	学習心理学	
専	准教授	為数哲司	平成19年4月	成人言語障害学総論Ⅰ 成人言語障害学総論Ⅱ 高次脳機能障害学 失語症学 失語症学特論 失語症学特論演習 発声発語障害学総論 構音障害学演習 音声障害学 摂食・嚥下障害学Ⅰ 摂食・嚥下障害学Ⅱ 運動性構音障害学 言語聴覚療法特論Ⅰ 言語聴覚療法特論Ⅱ 卒業研究 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ	専	准教授	為数哲司	平成19年4月	成人言語障害学総論Ⅰ 成人言語障害学総論Ⅱ 高次脳機能障害学 失語症学 失語症学特論 失語症学特論演習 発声発語障害学総論 摂食・嚥下障害学Ⅰ 摂食・嚥下障害学Ⅱ 運動性構音障害学 言語聴覚療法特論Ⅰ 言語聴覚療法特論Ⅱ 卒業研究 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ	分担任直しにより左記科目担当を変更した(21) 分担任直しにより左記科目担当を変更した(21) 為数と分担して担当した(21) 辞任：21年8月(22) 為数と分担して左記科目担当を追加した(22)
					専	准教授	安立多恵子	平成19年4月	構音障害学演習	
					専	教授	深浦順一	平成19年4月	音声障害学	
					専	助教	田宮愛	平成19年4月	高次脳機能障害学	
					専	講師	岩崎裕子	平成22年4月	成人言語障害学総論Ⅰ 成人言語障害学総論Ⅱ 高次脳機能障害学	
専	助教	田宮愛	平成19年4月	失語症学 失語症学特論 失語症学特論演習 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ	専	助教	田宮愛	平成19年4月	失語症学 失語症学特論 失語症学特論演習 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ	辞任：21年8月 理由：アメリカ留学のため 後任：岩崎裕子(22)
					専	講師	岩崎裕子	平成22年4月	失語症学 失語症学特論 失語症学特論演習 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ	
兼任	教授	太田善郎	平成19年4月	内科学 関連職種連携論	兼任	教授	山口雅也	平成19年4月	内科学 関連職種連携論	左記科目を分担して担当した(21)
					兼任	教授	齊場三十四	平成21年4月	関連職種連携論	
兼任	教授	十日市健助	平成19年4月	文化人類学 英語Ⅰ-2 英語Ⅱ(医学英語)	兼任	教授	十日市健助	平成19年4月	文化人類学 英語Ⅰ-2 英語Ⅱ(医学英語)	本学退職のため兼任講師として左記科目を担当した(22) 左記科目について担当を変更した(21)
					兼任	講師	十日市健助	平成22年4月	文化人類学	
					兼任	講師	徳江武	平成21年4月	英語Ⅰ-2 英語Ⅱ(医学英語)	
兼任	教授	杉森甫	平成19年4月	医学/医療史 健康科学理論 医学概論	兼任	教授	杉森甫	平成19年4月	医学概論	左記科目を担当した(19) 左記科目を担当した(19)
					兼任	講師	原田尚	平成19年4月	医学/医療史	
					兼任	教授	庄司紘史	平成19年4月	健康科学理論	
兼任	教授	杉原甫	平成19年4月	病理学	兼任	教授	杉原甫	平成19年4月	病理学	分担して担当する教員を追加した(20)
					兼任	准教授	渡辺恵子	平成20年4月	病理学	
兼任	教授	満留昭久	平成21年4月	小児科学	兼任	教授	満留昭久	平成21年4月	小児科学	分担して担当する教員を追加した(21)
					兼任	教授	濱本邦洋	平成21年4月	小児科学	
兼任	教授	庄司紘史	平成20年4月	臨床神経学 中枢神経機能学	兼任	教授	庄司紘史	平成20年4月	臨床神経学	分担して担当する教員を追加した(20) 左記科目を担当した(20)
					兼任	准教授	後藤純信	平成20年4月	臨床神経学 中枢神経機能学	

届出時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	教授	佐々木淳	平成19年4月	国際医療福祉論 老年学	兼任	教授	佐々木淳	平成19年4月	老年学	左記科目を担当した(19)
					兼任	講師	河口洋行	平成19年4月	国際医療福祉論	
兼任	准教授	柴田 滋	平成19年4月	倫理学 法学 医療関連法規 社会保障政策論 保健医療福祉制度論	兼任	准教授	柴田 滋	平成19年4月	倫理学 法学 医療関連法規 社会保障政策論 保健医療福祉制度論	19~21年まで担当した 後任未定 後期開講に向けて募集中 (22) 左記科目担当を変更した(22)
					兼任	教授	齊場三十四	平成21年4月	保健医療福祉制度論	
兼任	准教授	奈良貴史	平成19年4月	解剖学	兼任	准教授	奈良貴史	平成19年4月	解剖学	左記科目担当を変更した(21)
					兼任	講師	瀧川 渉	平成21年4月	解剖学	
兼任	准教授	石井久敬	平成20年4月	精神医学 児童精神医学	兼任	准教授	石井久敬	平成19年4月	児童精神医学	左記科目担当を変更した(20)
					兼任	講師	鬼塚俊明	平成20年4月	児童精神医学	
					兼任	准教授	上野雄文	平成21年4月	児童精神医学 精神医学	
兼任	講師	安本誠一	平成19年4月	保健医療統計学 情報処理 情報処理演習 物理学 化学 音声情報処理学	兼任	講師	安本誠一	平成19年4月	保健医療統計学 情報処理 情報処理演習 物理学 化学	より専門性の高い兼任講師に変更した(20) 左記科目担当を変更した(21)
					兼任	講師	松浦年男	平成20年4月	音声情報処理学	
					兼任	講師	増田正彦	平成21年4月	音声情報処理学	
兼任	助手	桐本 光	平成19年4月	健康科学実践	兼任	講師	巖 紅	平成19年4月	健康科学実践	左記科目を担当した(19)
兼任	講師	重松恵子	平成19年4月	文学	兼任	講師	重松恵子	平成19年4月	文学	左記科目担当を変更した(21)
					兼任	講師	大場建治	平成21年4月	文学	
兼任	講師	津田茂子	平成19年4月	人間学 コミュニケーション概論	兼任	講師	津田茂子	平成19年4月	人間学 コミュニケーション概論	左記科目担当を変更した(20)
					兼任	講師	上城憲司	平成20年4月	コミュニケーション概論	
					兼任	講師	石坂昌子	平成21年4月	人間学	
兼任	講師	飯田史也	平成19年4月	教育学	兼任	講師	古賀野卓	平成19年4月	教育学	左記科目を担当した(19)
					兼任	講師	永久欣也	平成22年4月	教育学	左記科目担当を変更した(22)
兼任	講師	藤島法人	平成19年4月	社会学	兼任	講師	福村昇平	平成19年4月	社会学	左記科目を担当した(19)
兼任	講師	佐々木拓雄	平成19年4月	国際関係論	兼任	講師	宮本なつき	平成19年4月	国際関係論	左記科目を担当した(19)
					兼任	講師	實 一穂	平成20年4月	国際関係論	左記科目担当を変更した(20)
兼任	講師	ベンジャミン・エドワーズ	平成19年4月	英語 I-1	兼任	講師	ナタリー・サトウ	平成19年4月	英語 I-1	左記科目を担当した(19)
					兼任	講師	パウロ・フェルガス	平成20年4月	英語 I-1	左記科目担当を変更した(20)
					兼任	講師	徳江 武	平成21年4月	英語 I-1	左記科目担当を変更した(21)
兼任	講師	ロバート・コウ	平成20年4月	英語 I-3	兼任	講師	アンガス・ペインター	平成20年4月	英語 I-3	左記科目を担当した(20)
					兼任	講師	パウロ・フェルガス	平成20年4月	英語 I-3	左記科目担当を変更した(21)
兼任	講師	尹 美暎	平成20年4月	韓国語	兼任	講師	尹 美暎	平成20年4月	韓国語	左記科目担当を変更した(21)
					兼任	講師	李 錦東	平成21年4月	韓国語	
					兼任	講師	金 英順	平成22年4月	韓国語	
兼任	講師	井上俊孝	平成19年4月	救急医学 公衆衛生学 外科学	兼任	講師	井上俊孝	平成20年4月	救急医学	本務先の都合により20~21年まで 担当した 後任未定 後期開講に向けて募集中(22) 左記科目を担当した(19)
					兼任	講師	諸岡健雄	平成19年4月	公衆衛生学	
					兼任	教授	佐々木淳	平成20年4月	公衆衛生学	
					兼任	講師	諫山照刀	平成21年10月	公衆衛生学	
					兼任	講師	壬生隆一	平成20年4月	外科学	



届出時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	齊場三十四	平成19年4月	ケアマネジメント論 ケースワーク論	兼任	教授	齊場三十四	平成19年4月	ケアマネジメント論 ケースワーク論	21年より教授として採用した(21)
兼任	講師	山村容子	平成20年4月	カウンセリング論	兼任	講師	吉住直行	平成20年4月	カウンセリング論	
兼任	講師	井上明生	平成20年4月	リハビリテーション医学 スポーツ医科学	兼任	講師	奥野徹子	平成20年4月	リハビリテーション医学	左記科目を担当した(20)
兼任	講師	永田俊明	平成19年4月	臨床心理学概論	兼任	講師	巖 紅	平成20年4月	スポーツ医科学	左記科目を担当した(20)
兼任	講師	吉住直行	平成19年4月	認知心理学 心理測定法 心理測定法演習 実験計画法 音声学Ⅰ 音声学Ⅱ	兼任	講師	吉住直行	平成19年4月	心理測定法 心理測定法演習	分担見直しにより左記科目担当を変更した(20) 分担見直しにより左記科目担当を変更した(21) より専門性の高い兼任講師に変更した(19) 今村と分担して左記科目を担当した(19) 今村と分担して左記科目を担当した(21)
					専	教授	南出好史	平成19年4月	認知心理学 実験計画法	
					兼任	講師	今村亜子	平成19年4月	音声学Ⅰ 音声学Ⅱ	
					兼任	講師	松浦年男	平成19年4月	音声学Ⅰ 音声学Ⅱ	
					兼任	講師	増田正彦	平成21年4月	音声学Ⅰ 音声学Ⅱ	
兼任	講師	金子修二	平成19年4月	画像診断学	兼任	教授	宇都宮英綱	平成20年4月	画像診断学	左記科目を担当した(20)
					兼任	講師	佐藤禎一	平成22年4月	世界遺産と国際文化政策	国際性を目指した教育理念充実のため科目を追加した(22)

- (注) ・ 設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。  
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈表題〉を「共通」とし、表を分けて作成してください。  
 ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。  
 ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。  
 ・ 年齢は、就任年度に関わりなく、「届出時の計画」には開設時現在の満年齢を、「変更状況」には平成22年5月1日現在の満年齢を記入してください。  
 ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。

(2) 専任教員数

届出時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
4	4	0	1	9	0	4	3	1	0	8	1	
( 2 )	( 2 )	( 0 )	( 1 )	( 5 )	( 0 )	[ 0 ]	[ Δ1 ]	[ 1 ]	[ Δ1 ]	[ Δ1 ]	[ 1 ]	

- (注) ・ 「届出時の計画」には、届出時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成22年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[ ]内に届出時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：Δ1)

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	准教授	橋本紀子	就任辞退：当時在籍していた勤務先の都合による。(21)
2	助教	田宮 愛	辞任：アメリカ留学のため(22)
3			

(注)・届出時の計画からの専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>1. 橋本紀子</p> <p>大学の所見：橋本紀子について、大学としては結果的に担当科目の大幅な組換えを行わざるを得ず、残念な結果として受け止めている。現在は非常勤講師の吉住直行先生に生涯発達心理学Ⅰ、生涯発達心理学Ⅱを担当していただき、その他の科目についても専任教員で分担しており、教育上支障のないよう対応している。</p> <p>なお、後任の専任教員は引き続き募集しているところである。</p> <p>学生への周知方法：学生の入学前であり、学生に対する周知は行っていない。</p> <p>2. 田宮愛</p> <p>大学の所見：田宮愛について、有能であり、学生からも慕われていた教員であったので、大変残念であるが、本人の留学の意志を尊重した。後任には新たに岩崎裕子講師に就任していただき、田宮の担当していた科目を引き継ぐ形をとることとしたため、教育上の支障は生じない。</p> <p>学生への周知方法：辞任が8月であったので、後期開始前に学生を集めて説明を行った。</p>
---

(注)・上記(3)の教員の辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

## 6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設置計画履行状況 調 査 時 (22年1月)	該当なし		

- (注) ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料を添付してください。
- ・ 入学定員超過に係る留意事項への履行状況については、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

## 7 その他全般的事項

<福岡リハビリテーション学部 言語聴覚学科>

### (1) 設置計画変更事項等

届出時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

- (注) ・ 1～6の項目により記入した事項以外で、届出時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置届出書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>FD委員会を、委員長1名、福岡リハビリテーション学部より委員5名、福岡看護学部より委員2名の計8名で設置している。</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>年間4～5回の委員会（不定期）を開催。委員は原則として参加。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新シラバスの作成について</li> <li>・臨床実習に関するフォーラムの開催について</li> <li>・大田原キャンパスでのFD研修会の参加について</li> <li>・学内研究費研究発表会の開催について</li> </ul> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新様式シラバスの作成、改定に向けた検討会</li> <li>・シラバスの作成、利用に関するグループ別ワークショップ</li> <li>・FDフォーラム（臨床実習に関するフォーラム）の開催 ※国際医療福祉学院、柳川リハビリテーション学院との合同開催</li> <li>・大田原キャンパスでのFD研修会参加</li> </ul> <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学部内教員全員参加によるワークショップ</li> <li>・学部内より選出された教員による勉強会（講演会）</li> </ul>
--

- ・外部講師を招聘した講演会
- ・実習施設先担当者を招待した講演会
- ・大田原キャンパスでの研修会への参加、事後報告会開催

- c 開催状況（教員の参加状況含む）  
原則として全教員が参加
- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況  
・新様式シラバスを平成20年度より改訂

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

### (3) 自己点検・評価等に関する事項

#### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

別紙のとおり

#### ② 自己点検・評価報告書

##### a 公表（予定）時期

- ・平成21年12月1日 公表

##### b 公表方法

- ・自己点検・評価報告書を刊行し、学内では役員等、教員及び付属施設の長等各1冊を配布、学外では、文部科学省、日本私立学校振興・共済事業団、日本私立大学協会等の関係団体、医療・保健・福祉系の国公立大学、前記以外の自己点検評価報告書の寄贈を受けた大学、主な学外実習施設、自己点検・評価委員会外部委員、地元記者クラブに各1冊配布
- ・大学ホームページ上に公開（平成21年12月）

#### ③ 認証評価を受ける計画

- ・平成19年度に評価機関（財団法人日本高等教育評価機構）の評価を受けた。次回、法令に定められた期間内のいつ受けるかは学内で検討中。

(注) ・届出時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(別紙)

## 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本学は平成7年における創設以来の基本理念である「人間中心の大学」、「社会に開かれた大学」、「国際性を目指した大学」のもと、幅広く深い教養と豊かな人間性を併せ持った医療福祉分野の専門職育成に力を注いできた。

福岡リハビリテーション学部言語聴覚学科においても、4年制大学という特長を生かし、今後益々進行する高齢化社会・高福祉社会において、リハビリテーション医療における指導的立場を担える言語聴覚士の育成を目標に教育を行ってきた。すなわち、専門性、総合性、柔軟性、社会性などを備え、コミュニケーション障害に悩む方々のために、真摯な態度で取り組むことのできる人材を育成している。

大学教育の中でも、国家資格を持つ医療職を養成する本学部は特に高度専門職業人育成の側面の強い学部である。

本年度は、最高学年が4年生となり、言語聴覚士の養成教育の最終段階である臨床実習（総合実習）を迎えている。臨床実習は総合的な実践学習の機会であり、評価から言語聴覚療法プログラム実施を臨床実習指導者のもとで学生が一人で対象者に対して実施する。この実践を通じて聴覚士としての基本的な態度と技術を総合的に学んでいるところである。

### 【地域社会との連携】

地域社会の生涯学習機会の拠点、社会貢献機能の面から、一般市民対象には「市民公開講座」の開催を、また受験生、進学希望者対象には、オープンキャンパスの開催により広く言語聴覚士の業務内容を紹介しているほか、地元大川市唯一の高等学校である福岡県立大川樟風高等学校との高大連携授業を実施し専門分野の講義・解説などを行っている。

また、大川市教育委員会の特別支援教育連携事業に参画し、大川市内の小学校における「ことばの教室」「言語通級教室」の実践交流に取り組んでいるほか、本学部学科教員が発達障害児等相談支援事業に係る巡回相談員として活動するなど、地域社会に着実に浸透している。

### 【教育課程の編成】

教育課程の編成に関し、当初着任を予定していた橋本紀子の就任辞退は残念であったが、非常勤講師としてではあるが、吉住直行氏の就任により、講義科目の組み換えの必要があったものの、その大部分をカバーできていると考える。

吉住直行氏は北九州療育センターにおいて療育部長を務めた臨床発達心理士であり、発達障害、特に自閉症児や学習障害児療育の分野において業績を残している。北九州大学において修士号（人間文化学）を修めており、心理学系の科目全般を講義できる人物である。

### 【教育環境の整備】

校地・校舎については、本学科の設置および理学療法学科の定員増に合わせて新築されたB棟、C棟では、一般講義室のほか音声検査室、人工内耳室など5つの防音室、成人言語訓練室、構音・嚥下室など目的別に設置された多くの演習室において、言語聴覚療法に関するあらゆる評価・訓練に対応した学習が行われている。また、学生食堂兼ラウンジ、グラウンド、体育館、武道場、部室棟を配置しているほか、情報処理室2室を設置しており、学生の福利厚生面にも十分は配慮がなされている。

### 【入学者選抜】

入学者選抜に関しては、一般入試・大学入試センター試験利用入試の実施に加え、AO入試、高校推薦入試、社会人特別選抜入試を実施し、広く受験の機会を設け、医療福祉分野への高い志と多様な個性を持った学生の確保に努めている。

以上

(4) 情報提供に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (  有  無 )
- b 公表予定時期 ( 22年 10月 1日 )
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク (  承諾する  承諾しない )
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス (http://www. )

(注) ・ 「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。  
なお、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

※大学設置室メールアドレス : [d-secchi@mext.go.jp](mailto:d-secchi@mext.go.jp)  
件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先(〇〇大学)」としてください。

## 国際医療福祉大学 FD 委員会規程

### (設置)

第1条 国際医療福祉大学学則第11条に基づき、本学の学部ごと又は複数学部にまたがってFD委員会（以下「委員会」という。）を置く。

### (目的)

第2条 委員会は、本学の定める教学の基本方針にしたがい、教育法の改善及び教員の資質の向上などFD（ファカルティ・ディペロプメント）に関して討議を行い、より質の高い教育方法の推進を図るものとする。

### (委員会の構成)

第3条 委員会は、次の各号の委員をもって構成する。

- 一 学部長の意見を聴いて学長が指名する各学科の専任教員、及びセンターがある場合にあってはセンターの専任教員
- 二 学長が必要と認めた者

2 前項第一号の委員の任期は1年とし、再任を妨げない。ただし、欠員が生じた場合の後任の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

3 第1項第二号の委員の任期は、学長が必要と認める期間とする。

### (委員長)

第4条 委員会に委員長を置き、委員の中から学長が指名する。

2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

3 委員長に事故があるときは、あらかじめ委員長が指名する委員がその職務を代行する。

### (委員会の成立)

第5条 委員会は、半数以上の委員の出席により成立する。

2 委員会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

### (委員以外の出席)

第6条 委員長が必要と認めるときは、委員以外の者を委員会に出席させることができる。

### (事務処理)

第7条 委員会の事務は、各キャンパス教務事務主管課の長が取り扱う。

### (雑則)

第8条 委員会の運営に関し必要な事項は、委員会の議を経て学長が別に定める。

### 附 則

この規程は、平成19年4月1日から施行する。

### 附 則

この規程は、平成21年4月1日から施行する。